



Ⅰ 学期の終業式を迎えます

4月8日(月)令和6年度の始業式から、早3ヶ月が過ぎ、今週末には終業式を迎えます。

「楽しい学校」を目標に、職員一同、知恵と力を合わせ取り組んで参りましたが、子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。

PTA 総会でもお話しさせていただきましたが、学校は子どもたちにとっての社会です。他者と一緒に生活すれば、必ずそこには思いのズレが生まれ、トラブルへと発展し、時には涙を流したこともあったのではないのでしょうか。児童全員が、毎日笑顔で過ごすことができる学校は、ある意味理想ですが、なかなかそうは行きません。

大切なのは、そのトラブルをただのトラブルで終わらせないことです。次の似たような場面に出くわしたとき、どのようにすれば回避できたのか、相手の立場にたって考えることのできる力を養うこと。また、トラブルをどのように克服し、友達との関係を再構築していくのかを一緒に考えていってやることなのではないのでしょうか。

そこで大切なのは、親子であっても他人であり、一人ひとり感じ方や考えが違うという大前提に立つことです。そこが欠落し、「腹立つよな」「嫌だよな」「もう遊びたくないよな」と、まるで親がすべてを分かっているかのように知らず知らずにリードしてしまうと、最後に残るのは「自分の気持ちを聞いてくれなかった親への不満」ということになってしまいます。親にしてみれば、あなたのためを思って・・・、それがまた子どもには「誰が頼んだ？」となり・・・あとは想像に難くないでしょう。

子どもは大人と違って経験値が圧倒的に不足しています。したがって、自分の考えをまとめるにも時間がかかります。思いをうまく言葉にできないこともあるでしょう。忙しい毎日ですが、ここぞという場面では、しっかりと子どもと向き合い、時間を使い、子どもが紡ぎ出す言葉を「オウム返し」のようにリピートしながら、思いの共感と心の整理を手伝ってあげて欲しいと思います。

子どもたちは保護者のみなさんの言葉を聴き、背中を見ながら自己を確立していきます。名前に願いを込めたように、「こんな大人になってほしい」と願う姿があるなら、それを保護者が行動で示してあげてください。保護者の姿は言葉よりも届きます。

夏休みを有意義な時間に

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。その楽しさも「安全」と「健康」あつてのものです。学校でも指導はいたしますが、この点については、保護者の方からも「気をつけなくてはいけないこと」「やってはいけない遊び」「命を守ることの大切さ」など、しっかりと話をさせていただきますようお願いいたします。

しかし、その部分以外では、日頃できない経験を積んだり、家族の一員として家事の一端を担ったり、自分で時間や行動計画を立て、実現できる時でもあります。安全も大切ですが、ちょっとした冒険心を満たしてやること、ちょっと勇気を出して挑戦できるよう背中を押してやること、そしてそれを自信につなげてやること、そういった時でもあって欲しいと願います。

夏休みの課題についてはオンライン説明会でもお伝えしたように、学びに主体性をもってもらいたいと考えています。学びは、「漢字・計算」を代表する知識だけではありません。ぜひ、自分の興味があることについて時間を使って取り組んでみて欲しいと思います。そして、自分が知ったこと、分かったことを誰かに伝えることができるよう、ICT を使ったり、ノートや模造紙にまとめたり、自分に合った方法で整理してみて欲しいと思います。また、多くの作品募集があります。応募するだけで参加賞が届くものもあります。子どもたちと一緒に楽しみながら調べてみてください。

学校にあるもので使いたいものがあれば、保護者の方と一緒に取りにきていただければ貸し出します。積極的にご利用ください。来校される際には、一度学校へ連絡してみてください。

では、8月27日(火)2学期始業式の日、元気でたくましくなった子どもたちの姿がみられることを楽しみにしています。